

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 社会福祉法人せんねん村中野郷保育園

(1) 教材名称

ワークブック“(こどもの名前)のべんきょう” no.1～10

(2) 対象

5歳児の子どもと保護者のうち、家庭で日本語をつかわない人

(3) 目的・目標

就学前のレディネスを高める

日本語学習に対して肯定的で意欲的態度を育てる

家庭学習の基礎を築き、保護者の母語を使うことで彼らの教育力を引き出す

(4) 構成

NO. 1 表紙、使い方説明、内容18ページ(運筆、自分の名前、ひらがな あ行、工作)

NO. 2 表紙、内容18ページ(ひらがな か行、工作、色塗り、数量の表現)

NO. 3 表紙、内容15ページ(ひらがな、さ行、工作、色塗り、数量の表現)

NO. 4 表紙、内容15ページ(ひらがな、た行、工作、色塗り、数量の表現)

NO. 5 表紙、内容15ページ(ひらがな、な行、工作、色塗り、数量の表現)

NO. 6 表紙、内容16ページ(ひらがな、は行、工作、色塗り、数量の表現)

NO. 7 表紙、内容17ページ(ひらがな、ま行、工作、色塗り、数量の表現)

NO. 8 表紙、内容13ページ(ひらがな、や行、工作、色塗り、数量の表現)

NO. 9 表紙、内容18ページ(ひらがな、ら行、工作、色塗り、数量の表現)

NO. 10 表紙、内容17ページ(ひらがな、わ・を・ん、工作、色塗り、数量の表現)

(5) 使い方

日本語教室や家庭で、時間と日時を区切って、指導者や保護者といっしょに取り組む。

その後、日本語指導者とともに答え合わせをしたり、自然な発音や表現を多く聞いたり、話す機会をつくる。

(6) 具体的な活用例

ワークブックNO. 1、10ページ (ひらがな“あ”“い”“う”のカードづくり)

↓描いてあるイラストについて話しあう。

↓ハサミやのり、色鉛筆などの文具を紹介し、使い方を見せる。

↓ひらがなのカードを作る

↓カードを糊付けするか、ラミネート加工し、見せ合ったり、カード遊びをする。

↓“あ、い、う”で始まる生活用品や、友だちの名前、文具などをみつけて集める。

↓“あ、い、う”で始まるものを写真でとったり、絵をかくて発表する。

掲示スペース(家庭なら冷蔵庫やコルクボード)に貼って、人に伝える。